

米子市・境港市(鳥取県):JR 境線

妖怪のキャラクターを用いた観光活性化

人口	149,584 人 (米子市) 36,459 人 (境港市)	モード	鉄軌道
面積	132.21 km ² (米子市) 28.79 km ² (境港市)	法令	—
人口密度	1,131.4 人/km ² (米子市) 1,266.4 人/km ² (境港市)	運営主体	西日本 旅客鉄道 (JR 西日本)



■ 取組の背景

地域と交通の状況

【観光振興の必要性】

- 米子市は鳥取県西部に位置し、古くから商業都市として発展。JR 山陰本線・伯備線・境線の鉄道 3 路線や米子空港を隣接する境港市と共有する交通の要衝である。
- 境港市は鳥取県西部に位置する水産都市である。著名な漫画家・水木しげる氏の出身地であることから、同氏の執筆した漫画「ゲゲゲの鬼太郎」に登場するキャラクターのブロンズ像がならぶ水木しげるロードを整備し、観光の目玉としている。
- JR 境線は米子市の米子駅と境港市の境港駅を結ぶ路線長 17.9km の JR 西日本の路線である。米子市から境港市への観光アクセスルートとして、平成 5 年 9 月、JR 西日本が「鬼太郎列車」の運行を開始。平成 12 年 8 月に車両をリニューアルした。
- 上記の経緯を踏まえさらなる観光振興のため、JR 西日本・米子市・境港市・鳥取県が協力して境線の観光路線化を図ることとなった。

活用メニュー(制度・協議会等)

【自治体独自協議会】

- JR 西日本・米子市・境港市・鳥取県による「境線観光路線化連絡会」が平成 17 年に発足し、境線の観光路線化を実施。

■ 実現したサービス

取組み内容

【車両の更新】【他主体連携】

- 米子駅の 0 番のりばを「妖怪ワールド」への出発口とし、境港駅までの 16 駅に「妖怪」をテーマとした装飾を施し、「鬼太郎列車」等に乗りながら日本全国の妖怪に出会い、妖怪ワールド境港へ誘うというコンセプトにより、列車導入、駅構内整備、イベントの実施等を行っている。
- 列車導入
 - 「鬼太郎列車」リニューアル(3 代目):平成 17 年 11 月
 - 「ねこ娘列車」導入:平成 18 年 7 月
 - 「ねずみ男列車」導入:平成 18 年 2 月
 - 「目玉おやじ列車」導入:平成 19 年 2 月
- 駅構内整備
 - 米子駅構内に、妖怪ブロンズ像、妖怪シメナワ、妖怪駅名柱、妖怪リスト吊り下げ看板、妖怪案内板、ねずみ男売店等を整備。
 - 境港駅構内に、妖怪ブロンズ像、妖怪の国ゲート等を整備。
 - 中間 14 駅に、妖怪駅名板整備。
- イベント
 - 山陰ディストネーションキャンペーンを活用した宣伝:平成 18 年 4 月・5 月
 - 境線スタンプ&クイズラリー:平成 18 年 7 月~8 月
 - 鬼太郎列車シリーズ 4 両連結:平成 19 年 3 月
 - 境線スタンプ&ウオークラリー:平成 19 年 7 月~8 月
 - 「JR 境線水木しげるの世界」記念オレンジカード、記念乗車券、記念入場券発売
- 情報発信
 - 「旅の手帖」、「山陰旅図鑑」などの旅の情報誌で境線を観光路線として全国発信。

■ 効果と負担

効果

【観光客の増加】

- ・ JR 境線の利用増、路線維持および観光客誘致に寄与した。
- ・ 境港市における乗車券発売枚数はゴールデンウィーク期間中の比較で、平成 18 年度は約 1,800 枚(5 月 3 日～5 月 7 日)、平成 19 年度は約 3,000 枚(5 月 1 日～5 月 6 日)であった。
- ・ 境港市の水木しげるロードの入込客数は、平成 18 年度は 969 千人、平成 19 年度は 1,562 千人であった。

負担

【市町村負担】【都道府県負担】

- ・ 米子駅へのブロンズ像設置 米子市:約 5 百万円 鳥取県:約 5 百万円
- ・ 境港市へのブロンズ像設置 境港市:約 5 百万円 鳥取県:約 5 百万円
- ・ 米子駅・境港市・中間駅の装飾 JR 西日本:約 22 百万円

■ プロセスと調整

境線観光路線化連絡会の取組み

【連携:交通事業者】

- ・ 平成 17 年に発足した JR 西日本・米子市・境港市・鳥取県による「境線観光路線化連絡会」において、境線の観光路線化の取組みを行っている。
- ・ 米子駅から境港市の各駅へ妖怪駅名板を配置することなどにより、境線を「妖怪ワールド」と位置づけて、鉄道利用と観光客の入込促進を図ることが合意され、参加者の間でこれらの設備の費用負担について協議がなされた。
- ・ 現在は、各種イベントへの取組みや旅の情報誌等への情報発信の取組みについての連絡調整の場となっている。

■ 創意工夫・知見・教訓

観光活性化に向けた鉄道事業者と沿線自治体の連携

【創意工夫:関係者との良好な関係】

- ・ 観光路線の活性化に向けて、鉄道事業者と沿線自治体との積極的な連携が実現し、観光客数や鉄道利用者数の増加といった効果を生み出している。
- ・ また境線は観光路線としての特徴のほか、地元の高校生が多く利用するなど、生活路線としての役割も重要である。
- ・ 観光を起爆剤に境線の活性化が図られることで、生活路線としての一般住民の交通手段が確保されているのも重要な効果と言える。

■ 連絡先、参考 URL 等

連絡先：境港市通商課 電話 0859-47-1068
 米子市観光課 電話 0859-23-5211
 JR 西日本米子支社営業課 電話 0859-32-8056